

# 1. 評価報告概要表

作成日 平成19年10月5日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1193900014
法人名	社会福祉法人 さきたま会
事業所名	羽生市もくせいの里
所在地	〒348-0022 埼玉県羽生市下手子林691番地2 (電話) 048-565-1175

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成19年9月26日

## 【情報提供票より】(平成18年12月27日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成13年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	7 人	常勤 3人、非常勤 4人、常勤換算 3人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り	
	1 階建ての	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	17,000円 + 実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(12月27日現在)

利用者人数	6 名	男性	4 名	女性	2 名
要介護1	0 名	要介護2	1 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 80 歳	最低	72 歳	最高	86 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	神山クリニック、松村歯科医院
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「羽生市もくせいの里」は、利用者が6人という小規模なホームである。個人の住宅を改築し、グループホームとして活用しているため、利用者、職員にとって落ち着いた住環境が提供されている。また、格調高い日本庭園と菜園があるので、四季折々の木々や野菜作りが楽しめる。市・運営母体の法人・管理者間の連携が密接に行われ、ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。職員の異動や離職が少なく、利用者にとっても安心して落ち着いた日々を過ごしている。ホームは地域の一員として、地域に溶け込み、近隣の小学校・公民館での行事へも参加している。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>玄関等の掲示物は、大きな字で見やすく書き、掲示されている。業務マニュアル等不足していたものは作成し、活用されている。介護計画の実施経過や見直しでは、評価期間を明示しながら、個人の状態の変化に対応したケアの記録をする努力をしている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価については、管理者と職員が、ケース会議で検討したり、随時話し合いを持ち振り返りを行い、評価の意義を確認している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>市の担当者とは密接な連携の基に、サービスの質の向上に向けて協力体制がとられている。運営推進会議については、関係者が集う機会を利用してホームの運営に関する様々な意見や情報を集約し、必ず記録に残しながら、サービスの向上に取り組んでいくことを考えている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>利用者・家族等のアンケートや相談窓口へは苦情や不安等の意見は出されていない。「意見箱」を設置するなど、利用者や家族にとって、意見や苦情、相談がしやすい方法を考えていく。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>「羽生市もくせいの里」は、地域の一員として地域の行事や老人会への参加を通して、地元の人との交流に努めている。利用者の散歩時には、小学生や近隣住民との挨拶や会話が自然体で行われている。</p>

## 2. 評価報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	施設の運営方針では、利用者個人を尊重し地域の中で普通に暮らし楽しく充実した生活になることを目指しており、地域のもちつき大会や老人クラブへ作品を出展するなど積極的に活動している。しかし、パンフレット・掲示物等に「理念」という言葉の表示がなされていない。		地域に密着した個別なケアサービスがなされている。パンフレット・施設内の掲示物等へ「理念」という言葉が表示されることを期待する。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営方針等について、管理者と職員が話し合いの場を持ち、日々の業務の中でより良いサービスの実践に取り組んでいる。ケース会議を利用して、日々の実践の振り返りを行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の敬老会や福祉祭りに参加したり、散歩時には地域住民と会話を交わしている。小学校の運動会には毎年招待され、競技にも参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価に際しては、管理者・職員は、記録様式・各種マニュアルの修正や作成等、サービスの向上に向けて取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市民福祉部の担当者等と毎月話し合いや報告をしながら、利用者・家族等へのサービス向上に向けて取り組んでいるが、運営推進会議としては設置されていない。		運営推進会議の意義や位置付けをホームとして確認し、関係者が集まる機会を活用して、会議の実施及び記録を管理していくことを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市が運営委託する事業所であることから、利用者の入居や運営について常に密接な連携をとり、サービスの向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月「もくせいの里だより」でホームの行事予定や薬湯情報・写真を送り、また、面会時に暮らしぶり等を報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に、苦情相談機関を明示し、また、家族の来館時に意見や不満等を伺っているが、現時点では表出されない。		「ご意見箱」を設置するなど、随時意見や要望を表出できる機会を設けていただくことを期待する。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人間の異動は必要最小限に抑えられており、職員と利用者の馴染みの関係が損なわれないように配慮している。同一法人内の他の事業所から緊急時の応援体制があり、それは日頃から交流を持つことによって、違和感無く職員・利用者を受け入れられている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者の研修は、段階的に進められている。他の職員については、法人内での実習を含めた研修が実施されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市が主催する福祉祭り等、で地域の関連する業者と交流する機会を設けている。ケアマネジャー間は、相互交流を密にして情報交換を行っているが、介護スタッフについては情報交換の機会は少ない。		現在、介護スタッフには交流を図る機会が少ないので、介護スタッフが同業者と交流する機会をより一層多くしていくことを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービスの利用に際しては、本人や家族に見学していただき、ホームの雰囲気に徐々に馴染めるよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の生活歴や趣味を把握し、野菜作りや絵画・習字等、利用者から学んだり、支えあう関係が築かれている。職員へのねぎらいの言葉をいただくこともある。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日ごろから、職員は言葉や表情を観察し、個人の思いや希望の把握に努めている。状態が変化した場合には、本人・家族の意向を重視しながら検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本位のより良いケアサービスの実施に向けて、毎月ケース会議を開き、職員が意見を出し合い、ケアマネジャーが計画として取りまとめている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、各課題ごとに定期的に見直しの期間を設定している。短期目標は、具体的で達成度が見える目標にし、評価のうえ修正し、現状に即した計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況や要望を踏まえ、同一法人の運営する特別養護老人ホームとの連携をとりながら、柔軟な支援をしている。また、週1回リハビリの専門家が同一法人より来所し、支援を受けている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時には、本人及び家族とかかりつけ医について相談し、意向を尊重するようにしている。また、同事業所の主治医ともいつでも報告・相談できる関係を築いている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のあり方については、本人・家族の意思を確認しているが、『ここでは、最後まで看取することはできない』と、事業所の方針を入居時に家族には明確に伝えている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室には名前を表示せず、入室時もロックをする等、日頃から利用者のプライバシーを損ねない対応をするよう配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各利用者のペースや判断を大切に、一日の過ごし方や散歩等希望に沿った支援をしている。「今日はどうされますか」という問いかけを大切に支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付け等、職員と利用者が可能な限り一緒に行っている。食事も一つのテーブルで話しながら楽しく食事ができるよう支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	檜作りの浴槽と風呂場が設置され、夕食後にゆったり入浴できるよう一人ひとり個別に対応し支援している。また、週毎にレモン・ひば・りんご湯等薬湯を楽しんでいる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜作り・庭木の剪定・大工仕事・絵画等、利用者一人ひとりの経験や知恵が発揮できるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は近隣の田園風景の中、散歩を楽しみ、またドライブや外食の計画も立てられている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	一人ひとりのその日の状態や行動を細かく把握し、鍵をかけない自由な暮らしができるよう支援している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力で定期的な避難訓練を実施している。日ごろ地域の人々との交流を持っており、協力体制が整いつつある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取状況や摂取量を毎日記録し、水分摂取は1000ccを目安にしている。一人ひとりの希望により、入浴後はスポーツ飲料を準備している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の生活空間には、季節の花や植物、利用者の作品や写真が掲示され、心地よく過ごせるよう工夫されている。縁側からは広い日本庭園が鑑賞でき、快適な空間が確保されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室はベッドが設置されており、馴染みの家具や仏壇が置かれたり、作品を飾ったり、本人が心地よく過ごせるよう工夫されている。		